

PICK UP 私の気になった一般質問

「観光振興や子どもの育み」

観光分野でも大きな被害があったことを改めて知りました。回答でも専門的な用語がわかりやすく説明されていたり、実際に今どのようなことが行われているかを答えていてわかりやすかったです。

現代文化学部1年 小川 聖



「新型コロナウイルスの感染拡大と小中学校のオンライン授業の実施」

オンライン授業の利点としては、自宅や好きな場所で勉強ができることくらいだと思っていたのですが、不登校児が画面越しで授業に参加できるようになり、さらにその後には登校できるまでになったという事例に驚きました。

現代文化学部4年 清田 紗帆



最初の一步には録画放送は効果的

録画放送は構えずリラックスして聴ける事や、好きな時に何度も見返せる事、聞き取りづらかった場合に巻き戻して再度視聴できる事などがメリットだと感じました。



田島 (文責)、宮本、清田、富田、濱田グループ

強い思いと意思が伝わった

一方で画面越しのため、登壇している議員の表情や、現場の臨場感、緊張感といった肌で感じる空気、話し手の名前など、伝わってくる情報が少ないと思いました。

質問者と回答者が1対1で討論するイメージでしたが、町長や教育長、総務部長など、複数の人が代わる代わる回答していて新鮮でした。
今年にはコロナウイルスの流行で、避難場所や休校時の教育環境など、様々な事柄を根本から見直さなければならなくなりました。
しかし、1つのテーマだけでもとても長い話し合いが行われており、コロナ禍でもより良い生活を提供するにはどういった政策を取るべきかの議論には強い意志を感じられました。

町議会こぼれ話⑥ 【一般質問】 個々の議員が町の取組みや方針等について質すもので、大津町では一人60分、再質問は2回までです。

若者の視点

尚綱大学生によるレポート20

議会傍聴を終えての素直な感想を語る！

今回は2班に分かれてのグループディスカッションの内容をまとめました。



鹿子木 (文責)、高宮、小川、河北、佐藤、須藤グループ

議員と職員の熱が伝わってきた

緊張感があり、納得いくまで熱のこもった話し合いが行われていました。コロナ禍で画面を通じた録画での傍聴であったため伝わりづらい部分もあったが、一方では過度に緊張せず、リラックスして議論内容に集中できました。

幅広いテーマに関心が湧いた

やはり、新型コロナウイルスに関する質問が多くを占めていました。その中でも、健康や観光、教育など、幅広い質問があり、学生それぞれに興味を持って聞くことができました。

まちづくりへの関心が深まった

観光復興のために、大津町を散策できる地図を作成して地域のシンボルを知ってもらう取り組みは、町の知名度向上に繋がる良い案だと思いました。また、他の地域と連携して、大津町だけでなく熊本全体で盛り上げていくのは良い考えだと感じました。



町議会こぼれ話⑤ 【政務活動費】 各議員の研修等のために支給される費用ですが大津町では支給なしです。(菊陽町、菊池市ともに年額24万円)